

広島車協、8年ぶり「もれやすい作業工数表」を改訂



【広島】広島県自動車車体整備協同組合（金尾一美理事長）が、「もれやすい作業工数表」を8年ぶりに改訂した。ハイブリッド車（HV）や電気自動車（EV）、さらに自動ブレーキなど先進安全自動車（ASV）技術に対応した。

広島車協が改訂発行した「もれやすい作業工数表」はA4版で、500部を制作した。HVやEVの普及に加え、自動ブレーキやレーンキーピング機能などを最新の安全装備の車体整備に対応、修理工数を新たに示した格好だ。

同冊子の発行に合わせて、10月までに広島と福山の県内2会場で会員向け説明会を開く。詳細は未定。将来的には工数表をCD化し頒布することも検討している。なお、価格は1千円。